

ベトナムにおけるマグロ漁業

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Tran Thi Kim Thu)

はじめに

ベトナムにおいて漁業は主要産業の一つであるとともに、水産加工品はベトナム経済を支える輸出製品の一つとなっている。現在、その中でも特にマグロが注目されており、今回はマグロ漁業に関して述べてみたい。

ベトナム海域は南シナ海および太平洋に接しており、ベトナム周辺の自然環境は海洋漁業や海産物の水揚げに優位に働いている。このため、マグロ漁をはじめとして、漁業はベトナム発展のための重要な産業として位置づけられている。

農業農村開発省はこのほど、マグロをベトナムの主力輸出水産物の一つとする方針を明らかにした。現在、マグロの輸出額はナマズ、エビに次ぐ規模となっているが、2012年のマグロの漁獲量年間2万トン余りのうち輸出分は24%~30%とそれほど多くない。その理由としては、輸出可能な品質を満たすマグロの漁獲量が少ないことや、漁獲・加工技術が発達していないことが挙げられる。

このようにベトナムにおけるマグロ漁は発展途上ゆえ投資機会が多く、外国投資家からも注目を集める分野の一つだと思われる。

1. 豊富なマグロ漁獲量

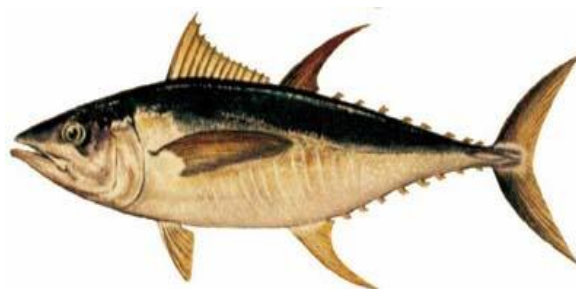
ベトナムは東側が海に面する地形となっており、海の生活に慣れた漁師は、漁業に関して多くの経験を有している。また、気候の関係から、ベトナム近海では漁獲時期を異にして9種類のマグロが獲れるため、年間を通して安定した漁獲量が保証されているという。そのため、ベトナムのマグロ漁業は好調で、2013年のマグロ漁獲量は中部のビンディン省が5,400トン、フーイエン省が4,000トン程度、2014年のマグロ輸出量は前年比2倍に増加すると見込まれている。

ベトナムで獲れるマグロ9種のうち、キハダマグロ及びメバチマグロの2種が漁獲高の大半を占めており、地理的にはフーイエン省、カインホア省、ビンディン省がマグロ漁の主な地域である。

【ベトナムで獲れる主なマグロ】

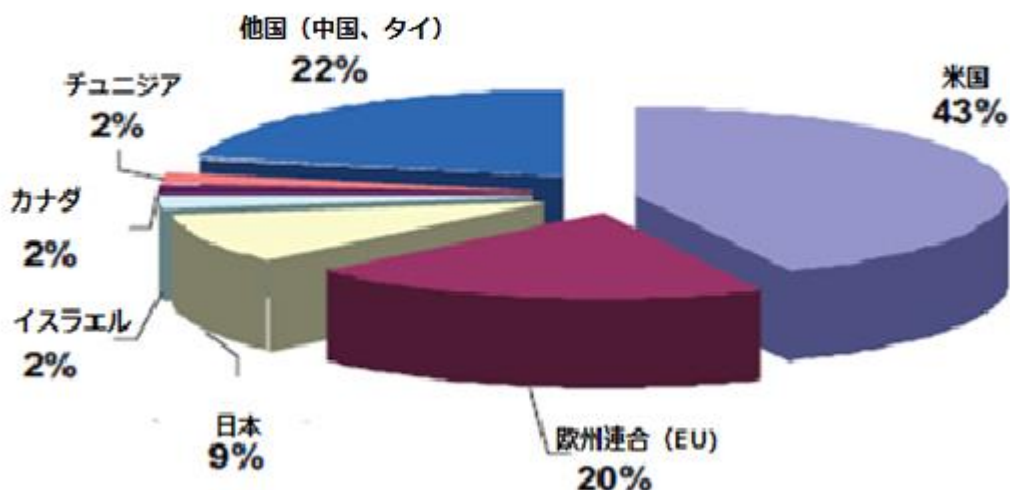


■メバチマグロ



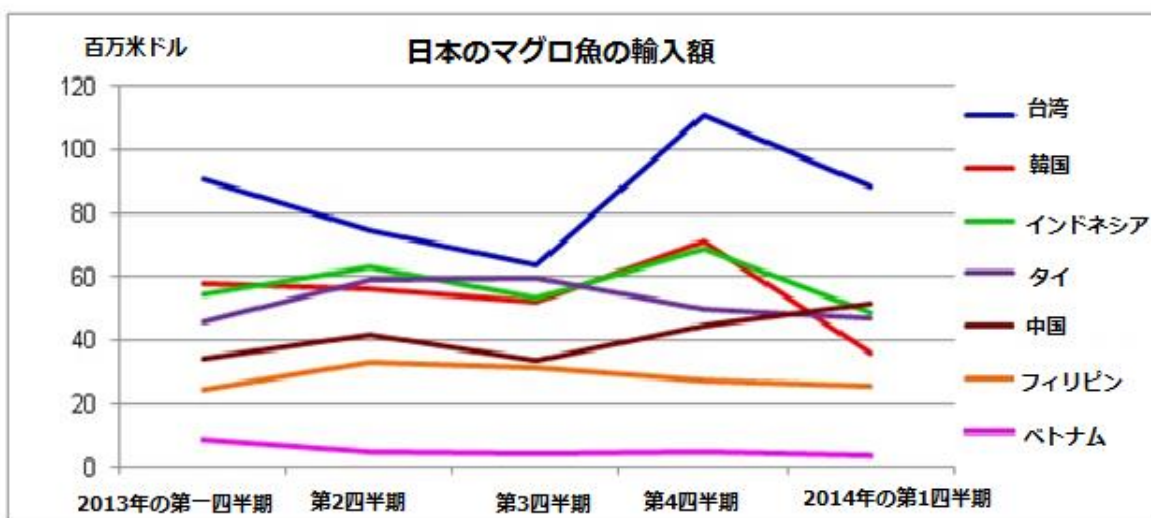
■キハダマグロ

【ベトナムにおける 2012 年のマグロの輸出先】



ベトナムで獲れたマグロ及びマグロの加工製品は世界 86 カ国に輸出されているが、上の円グラフは 2012 年のベトナムにおけるマグロの輸出先国割合である。主な輸出先は米国が 1 位、2 位は欧州連合 (EU)、3 位は日本である。マグロの輸出額は 2011 年から 2013 年にかけて拡大を続けており、2012 年には 569 万米ドルに達した。

しかしながら、最近の日本へのマグロの輸出額はそれほど芳しくなく、実際 2014 年 1 月から 4 月までの対日輸出額は前年同期比減であった。下記の表によれば、日本へのベトナムのマグロの輸出総額は 800 万米ドル、前年同期比 67%減で、ベトナムのマグロ輸出は他国に比べあまり競争力がない。



【日本のマグロの輸入額】

ベトナムでは、マグロの漁獲量が多い割には輸出額が低水準である理由として、漁業の漁獲・加工技術が発展途上であり、漁船の冷蔵保存能力が低く、マグロの品質を低下させていることが挙げられており、その問題はマグロ漁の課題として近年注目されている。

2. ベトナムにおけるマグロ漁に対する課題

➤ マグロの漁獲技術

これまで漁師は古い装備でマグロ漁を行っており、漁の際にマグロを傷つけてしまうこと、および漁船の保存能力が低いため1ヶ月以上に渡る航海でマグロの鮮度が落ちてしまうことから、売価も低下してしまう。通常、マグロの価額は14万ドン/kg(約700円)から4万ドン/kg(約200円)という低価格帯でしか販売されないため、漁民の生活は困窮している。

一方、現在ビンディン省においては日本の最先端マグロ漁獲技術を導入し、効果が出始めているとのことで、2013年のビンディン省のマグロ漁獲量は8,000トンに達し、販売価格は20%増となった。しかしながらその他フーイエン省などでは、20トン級の小型木造漁船しか使用されていない上、漁獲技術も未熟なため、技術の向上を行えば、漁獲量においては拡大、販売価格においては上昇の余地が大いにある。

日本の漁獲技術を導入すれば、マグロの漁獲量は増えるとともに品質も向上し、輸出額も増加すると期待されている。

なお、ベトナム政府においても漁獲技術の向上を目標とし、最新設備の漁船を用いることを奨励している。

▶ マグロの品質の向上

ベトナムではマグロの輸出額を増加させることを目標に、日本人の専門家を通して加工技術や冷蔵保存機能を導入している。日本の保存技術によりベトナムマグロの品質は輸出先の厳しい水準を満たすことが可能となり、輸出先が拡大すると期待されている。2014年には前年から16カ国増え、86カ国へマグロ製品が輸出されている。

マグロ製品の付加価値を高め、販売価格を上昇させることにより、漁師の生活改善、さらにベトナム海洋漁業の発展へとつながっていくであろう。

▶ 輸出市場の開拓

マグロの漁獲技術の発展及び品質の向上は、輸出先国を増やすことに繋がり、現在輸出市場はオランダやスペインなどのEU圏をはじめ、米国、日本及びアジア諸国と全世界に渡っている。ベトナムは2013年に中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)に参加したことから、マグロ漁獲の技術や品質の向上、漁船の活動管理強化、マグロの価額の権利保証の実施等が見込まれている。

終わりに

ベトナムでは、マグロ漁に関して利点や欠点を把握した上で、利点を生かすとともに欠点を改善するための効果的な方法を生み出そうという意識が湧いてきている。また、外国の投資家はベトナムのマグロ漁業界に参入し、投資を行う機会も十分あると思われる。

外国の投資家がマグロを漁獲するための設備の提供や加工及び品質保持方法の技術提供などを行うで、よりベトナムのマグロ漁の付加価値を高めることができるであろう。

【参考と引用文献】

1. **【日本企業が海洋漁業に参入：外資で初、楽市B Sが主導 [農水]】**
<http://news.nna.jp/free/news/20111005icn001A.html>
2. **【2013年のベトナム産マグロの3つの挑戦】**
<http://covcci.com.vn/bizcenter/0/Ba-th%C3%A1ch-th%E1%BB%A9c-c%E1%BB%A7a-ng%C3%A0nh-c%C3%A1-ng%E1%BB%AB-Vi%E1%BB%87t-Nam-n%C4%83m-2013/1521/14881>
3. **【ベトナム産マグロ、世界市場で輸出拡大】**
http://www.viet-jo.com/home/magick_img.php/121003024625.jpg
4. **【原料の不足のためマグロ輸出が困難】**
http://bacongthuong.com.vn/xuat-nhap-khau/40184/xuat-khau-ca-ngu-gap-kho-vi-thieu-nguyen-lieu.htm#.U9I1K_l_vEg
5. **【日本への輸出、ベトナムマグロ魚が困難】**
http://www.vasep.com.vn/Tin-Tuc/1019_35530/Ca-ngu-kho-day-manh-xuat-khau-sang-Nhat-Ban.htm
6. **【ベトナムのマグロ魚の輸出は2013年の海産物業の発展を促進させるだろうか】**
<http://vietfish.org/2013061302404399p48c58t121/lieu-c-ngu-co-tiep-tuc-cuu-xk-thuy-san-nam-2013.htm>